

## 栃木県教育大綱に基づく施策の取組状況等について

[基本目標 1] 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力等の調和のとれた発達を促すことによって未来を切り拓く力の基礎を育みます

### 施策の方向 1 確かな学力の育成

子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、個別最適な学びの実現を図るとともに、児童生徒の学習意欲を高め、主体的な学びや協働的な学びを通して、確かな学力の育成に取り組めます。

主な取組状況	
○とちぎっ子学力アッププロジェクトの実施	
・とちぎっ子学習状況調査の実施による学力・学習状況の把握・分析	
・学力向上コーディネーター派遣事業や学力向上推進リーダー配置事業の充実	
○幼児教育の充実と幼小連携の推進	
・幼小カリキュラム接続事業	など

### 施策の方向 2 豊かな心と健やかな体の育成

自立した一人の人間として、自分の生き方を考え、多様な人々と共によりよく生きるための豊かな心を育み、生きる力の根底となる健やかな体の育成に取り組めます。

主な取組状況	
○人権や人権問題の正しい理解を図るための学習・啓発の充実	
・「G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」を踏まえたデジタル学習教材「人権の窓」や県内児童生徒等の作品を掲載した「人権に関する文集『あすへのびる』-43 集-	
」の作成・配布、活用の推進	
○子どもの読書活動の推進	
・読書活動を推進するための知識や技能を研修により身に付けた高校生を「読書コンシェルジュ」に任命、各校における読書活動の推進	
○幼少期からの運動習慣の定着に向けた取組の推進	
・とちぎっ子体力ジャンプアッププロジェクトの実施による更なる体力向上の推進	など

### 施策の方向 3 子ども一人ひとりに応じた教育・支援の充実

生まれ育った国や家庭環境、障害の有無等にかかわらず、誰もが安心して等しく教育を受けることができるよう、一人ひとりに応じた多様できめ細かな指導・支援の充実を図ります。

主な取組状況	
○就学前から学校卒業後までの一貫した支援体制の構築	
・障害のある児童生徒の一貫した支援体制の構築	
○インクルーシブ教育システムを推進するための特別支援教育の充実	
・小・中・高等学校等の特別支援教育に関する校内支援体制の充実強化	
○不登校児童生徒に対する個々の状況に応じた適切な支援	
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、スクールロイヤーによる法律相談等を通じた学校の相談・支援体制の充実	
○日本語指導が必要な児童生徒に対するきめ細やかな支援	
・日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校への母語支援員の派遣	など

#### 施策の方向4 教育の基盤の充実

すべての教育活動における安全・安心を確保するとともに、学習の基盤となる情報活用能力の育成に有効なICTの活用をはじめ、きめ細かな支援ができる教育環境の整備と特色ある学校づくりに取り組みます。また、学校における働き方改革を進めるとともに、教員の資質・能力の向上に努めます。

主な取組状況	
○教育活動における安全管理の徹底	
・安全管理・危機管理研修会や運動部活動リスクマネジメント研修会等の開催	
○ICT環境の充実と教員のICT活用指導力の向上	
・教育DX推進研究校におけるICTの活用に関する実践事例の発信	
・児童生徒の発達の段階に応じた情報モラル教材「GIGAワークブックとちぎ」及びその活用方法を示した「活用の手引」の作成	
○教員の養成・採用・研修の一体的な取組の推進	
・とちぎの教育未来塾の実施や教職経験年数に応じた各種研修の充実、教員採用試験の改善等	
○少人数学級及び少人数指導によるきめ細かな指導の推進	
・義務教育全学年での35人以下学級（いきいきプロジェクト）の実施	
○教員の働き方改革の推進による児童生徒への指導の充実	
・「学校における働き方改革推進プラン(第2期)」に基づく全校長を対象とした業務改善マネジメント研修の実施	
○私立学校のICT教育水準の向上を図る取組への支援など私学の振興	
・ICT教育環境の整備推進	など

[基本目標2] 人との関わりを通して生き方についての考えを深めることによって自分の未来を創る力を育みます

#### 施策の方向5 自分の生き方を考える教育の充実

家族や所属する集団、地域社会における多様な人々との関わりの中で、自分を知り、生き方についての考え方を深め、自分の将来を自ら考えることのできる教育を推進します。

主な取組状況	
○キャリア教育・職業教育の推進	
・小中学校及び義務教育学校におけるキャリア・パスポートの活用によるキャリア教育の充実	
・各専門高校において「キャリア形成支援」事業等により学科の特性、生徒・地域の実態に応じた人材を招へいした授業等の実施	
○「じぶん未来学」など高校生が自分の生き方を主体的に学び考える学習の推進	
・「じぶん未来学」の全県立高校・特別支援学校高等部での実施	など

### 施策の方向6 社会に参画する力を育む教育の充実

社会の出来事を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことなどを通して、社会の一員として必要な判断力や実践力等を育み、SDGsの達成など、今後の社会の在り方についての考えを深める教育を推進します。

主な取組状況
○（税の公平性や社会保障の持続可能性など）公共的な事柄に関する課題の解決に向けて主体的に探求する教育活動の推進 ・ 県議会議員の高校訪問等による主権者教育の充実強化 ○若者の地域活動への支援による社会参加の促進やリーダーの育成 ・ 高校公民科「公共」の授業づくり支援や高校生の選挙や政治への関心の向上と参加を促すためオンラインセミナーを実施 など

### 施策の方向7 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

子どもたちが多様な人々との関わりの中で様々なことを経験しながら、幅広い年代の人々も互いに学び合うことができるよう、学校・家庭・地域の連携・協働を一層推進します。

主な取組状況
○地域学校協働本部等の地域の組織体制整備への支援や地域学校協働活動推進員等の養成 ・ 地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターの養成 ・ 学校と地域の連携・協働の実践事例をまとめたハンドブックの活用による地域学校協働活動への支援 など

[基本目標3] 豊かな学びの機会を通して描く未来の可能性を広げることによって一人ひとりの夢や志を育みます

施策の方向8 ふるさとへの愛着や誇りを醸成する教育の充実

本県の魅力や日本の自然・歴史、伝統文化等への理解を深め、ふるさとへの愛着や誇りを醸成する教育を推進します。

主な取組状況	
○ふるさととちぎについて理解を深める「とちぎふるさと学習」の推進	など
・「とちぎふるさと学習」に関する資料やホームページ等を活用した郷土愛の醸成	
○とちぎの歴史や文化を再発見し、県民の郷土愛を醸成する取組等の推進	など
・文化財を活用した学習機会の提供や公開等の実施	

施策の方向9 高度な知識・技術、多様な文化に触れる教育の充実

情報化や国際化など急激に変化する社会において、グローバル化に対応できる人材や地域を担う人材を育成するために、より高度な知識や最新の技術、多様な文化に触れる機会の充実を図り、子どもたちの視野を広げ、挑戦意欲を引き出す教育を推進します。

主な取組状況	
○企業における最先端の技術に触れる機会や、各産業分野の専門家から高度な知識・技術を学ぶ機会の提供	など
・インターンシップ推進事業の実施による各校における職業体験活動の機会の充実支援	
・モデル校4校におけるSTEAM教育の推進	
○高校生の長期・短期留学支援	など
・高校生短期留学プログラム支援事業や県立学校短期留学支援事業による留学の支援	

施策の方向10 スポーツ・文化の振興と生涯学習の推進

様々な分野の本物に触れる機会の充実を図り、県民のスポーツ・文化への興味・関心を高め、誰もがスポーツ・文化に親しめる場を広げるとともに、生涯を通じて学び続けることができるよう、多様な学習機会を確保します。

主な取組状況	
○生涯学習の推進	など
・「とちぎ県民カレッジ」事業の実施による多様な学習機会を提供	
・「とちぎ子どもの未来創造大学」事業の実施による企業等と連携した多様な体験学習機会の提供	
○スポーツの振興	など
・県民総参加によるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催や大会を通じて培われた有形・無形のレガシーの承継	

## 施策の方向プラス

### 心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実

食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育むため、教育活動全体において食に関する指導を実施するとともに、家庭や地域等幅広い関係者との連携や交流を通して食育の充実を図ります。

主な取組状況	
「基本目標1」の実現に向けて	
○食べ物を大切に作る心の醸成	
・食育絵画ポスターコンクールの実施	
○規則正しく栄養バランスのとれた食生活の推進	
・栄養教諭・学校栄養職員等を対象とした研修会の実施	
○学校における食に関する指導体制の充実	
・食に関する理解や正しい食習慣の確立できるよう食に関する専門家等を学校に派遣し講話等を実施	
○食品の安全性に関する知識習得への支援	
・食の安全衛生に関する情報発信及び学習機会の提供	
・学校給食調理場への衛生管理に関する訪問指導	
○食育に関わる人材育成と活動支援	
・とちぎ食育推進月間やとちぎ食育応援団出前講座を通じた食育の普及啓発	
・栄養教諭・学校栄養職員研修会や学校給食主任研修会の実施	など
「基本目標2」の実現に向けて	
○家庭で食を楽しむ共食の環境作りの推進	
・共食の効果や必要性に関する情報を各学校の「食育だより」等を活用して発信	
○学校や地域、職場等において共食を楽しむ機会の拡大	
・ボランティア団体と連携した地域の食育推進を実施	
・給食の時間に、みんなで食べることの大切さやマナーについて指導	
○食に関する体験機会の拡大	
・グリーン・ツーリズム実践者の活動のための研修会の開催や「見る、食べる、体験する」情報の発信	など
「基本目標3」の実現に向けて	
○学校給食や生産者との交流を通じた県農産物への理解促進	
・生産者等を学校に派遣し講話や体験活動等を実施	
○学校給食の地場産物活用推進	
・学校給食における県産農産物の活用拡大に向けた支援	
○地域の気候風土や伝統行事等と深く結びついた食文化の継承・発展	
・各種 SNS 等を通じた食と農の魅力発信	
・給食に郷土食・伝統食を提供し、地域食材への理解や郷土愛等を醸成する	など

## 栃木県教育大綱関連施策に係る主な成果指標

〔 栃木県教育振興基本計画2025等において関連すると考えられる主な指標について記載したもの 〕

○基本目標1 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力等の調和のとれた発達を促すことによって未来を切り拓く力の基礎を育みます

・施策の方向1 確かな学力の育成

指標	「全国学力・学習状況調査（文部科学省）」の「教科に関する調査」の各教科（国語、算数・数学、理科、英語）の標準化得点の平均値 （理科と英語は3年に1回程度実施）						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
小6	(2019) 99.5 (国・算)	100 (国・算)	99.7 (国・算・理)	100 (国・算)			各教科の標準化得点の平均値が、全国平均(100.0)を上回る
中3	99.7 (国・数・英)	100 (国・数)	99.7 (国・数・理)	99.3 (国・数・英)			
指標	幼小カリキュラム接続事業を実施している市町数 〔幼小連携推進状況調査〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2020) 17市町	21市町	23市町	19市町			25市町

・施策の方向2 豊かな心と健やかな体の育成

指標	「自分にはよいところがあると思う」と答える児童生徒の割合（小6・中3） 〔全国学力・学習状況調査（文部科学省）〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
小	(2019) 83.1%	79.2%	81.5%	85.4%			100%を目指す
中	78.4%	78.9%	80.9%	82.5%			
指標	1か月に1冊も本（まんが・雑誌を除く。）を読まない児童生徒の割合（不読率）〔子どもの読書活動に関する実態調査〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
小	(2019) 7.4%	10.3%	5.7%	6.3%			5%以下
中	16.1%	15.5%	20.7%	14.8%			14%以下
高	49.9%	49.6%	54.0%	49.5%			40%以下
指標	新体力テスト体力合計点の本県平均値と全国平均値の差 〔全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
小5男子	(2019) ▲ 1.17点	▲ 0.78点	▲ 0.53点	▲ 0.47点			小5、中2の男女とも全国平均値を上回る
女子	▲ 0.10点	0.32点	0.54点	0.58点			
中2男子	▲ 0.37点	0.17点	▲ 0.35点	0.47点			
女子	0.35点	0.84点	0.96点	1.49点			

・ 施策の方向3 子ども一人ひとりに応じた教育・支援の充実

指標	中・義務教育学校において、個別の教育支援計画を作成し、高等学校等へ進学した生徒のうち、引継ぎを実施した割合 〔障害のある幼児児童生徒の支援情報の引継調査〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)						
	65.0%	68.9%	74.3%	79.5%			100%
指標	「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合〔全国学力・学習状況調査(文部科学省)〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
小6	(2019)						増加を目指す
	36.0%	37.2%	37.0%	39.0%			
中3	35.3%	38.1%	38.0%	37.8%			
指標	小・中・義務教育学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒のうち、「特別の教育課程」による日本語指導を受けている割合 〔小・中学校教育課程等に係る調査〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2020)						
	78.1%	87.1%	79.9%	79.2%			100%

・ 施策の方向4 教育の基盤の充実

指標	学校管理下における負傷を伴う事故等の発生率(国公私合計) 〔災害共済給付状況(独立行政法人日本スポーツ振興センター)〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)			2019年における全国最上位の水準(3.46%)を目指す
	4.01%	3.54%	3.33%				
指標	ICT活用指導カチェックリストの「授業にICTを活用して指導する能力」に関する設問において、「できる」もしくは「ややできる」と回答した教員の割合 〔学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)			100%(2022年度までに90%以上)
	72.0%	71.8%	75.7%	77.9%			
指標	県総合教育センターが実施した研修について「自身のキャリアステージに応じた資質・能力の向上に役立つ」と回答した教員の割合 〔受講者振り返りシート〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)						毎年度80%を上回る
	79.2%	80.0%	80.6%	81.1%			

指標	少人数学級及び少人数指導の成果として、きめ細かな指導につながった旨の回答をした小・中・義務教育学校の割合 〔少人数学級実施状況調査、少人数指導の実態に関する調査〕						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
少人数学級	(2019) 94.9%	95.8%	96.3%	96.2%			毎年度95%を上回る
少人数指導	97.7%	97.6%	97.6%	98.9%			
指標	「業務改善により、教材研究や授業準備、児童・生徒指導に充てる時間が増加した」と回答した公立学校教員の割合 〔「学校における働き方改革推進プラン」に基づく実態調査〕						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
	(2019) 24.3%	31.8%	29.0%	29.3%			50%以上
指標	公立学校教員の1か月当たりの時間外勤務時間(在校等時間から条例で定める勤務時間等を減じた各月の合計時間の平均) 〔「学校における働き方改革推進プラン」に基づく実態調査〕						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
	(2019) 49.5時間	48.0時間	49.5時間	46.1時間			45時間以下

○基本目標2 人との関わりを通して生き方についての考えを深めることによって自分の未来を創る力を育みます

・施策の方向5 自分の生き方を考える教育の充実

指標	生徒一人一人が主体的に学ぶ体験活動を取り入れたキャリア教育を推進している高等学校の割合						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
	(2019) 57.6%	43.1%	63.8%	69.0%			100%

・施策の方向6 社会に参画する力を育む教育の充実

指標	様々な社会問題について、生徒が自分のこととして捉え、社会参画力を育むことを目標とする教育活動を計画・実施している高等学校の割合						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
	(2018) 39.6%	(2020) 46.4%	(2021) 50.0%	(2022) 52.9%			85.0%

・施策の方向7 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

指標	小・中・義務教育学校における地域学校協働本部カバー率〔コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査(文部科学省)〕						
	基準値	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	目標値
	(2020) 65.0%	64.3%	66.4%	64.5%			80%を上回る

○基本目標3 豊かな学びの機会を通して描く未来の可能性を広げることによって一人ひとりの夢や志を育みます

・施策の方向8 ふるさとへの愛着や誇りを醸成する教育の充実

指標	フェイスブック「体感!!とちぎの文化財」ページのコンテンツを見たユーザー数（累計）						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)						3,511,000件
	1,200,939件	1,961,350件	2,367,310件	2,756,584件			

・施策の方向9 高度な知識・技術、多様な文化に触れる教育の充実

指標	留学や海外とのオンラインを通じた交流や研修等を実施した高等学校の割合						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)						65.0%
	33.9%	20.3%	29.3%	45.0%			

・施策の方向10 スポーツ・文化の振興と生涯学習の推進

指標	国民体育大会での天皇杯・皇后杯の順位						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)						2022年は天皇杯・皇后杯を獲得し、その後も19位以内を維持する
	18位 26位	三重大会中止	2位 2位				
指標	成人の週1日以上スポーツ活動実施率〔栃木県政世論調査〕						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2020)						65%（国の目標）
	53.5%	52.0%	55.7%				
指標	とちぎ県民カレッジ年間受講者数（累計）						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)			420,000人
	74,229人	29,918人	70,039人	106,297人			

○施策の方向プラス 心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実

「基本目標1」の実現に向けて

指標	食の安全に関する情報発信						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	—	92回	174回	234回			延べ250回以上

「基本目標2」の実現に向けて

指標	農業体験を複数回したことがある県民の割合						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	(2020) 67.9%	65.6%	61.9%	65.8%			90%

「基本目標3」の実現に向けて

指標	学校給食における地場産物活用割合を基準値より向上した市町の割合						
	基準値	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	目標値
	R3市町調査データを基準値とする	—	60.0%	60.0%			100%